

西宮市水道事業経営戦略に基づく取組みの評価報告書 概要版<令和2年度(2020年度)>

投資・財政計画（投資・財政計画 P14）

(単位：千円、税抜)

	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)			令和3年度 (2021年度)	検証<計画値との差> (主な増減理由)	評価
	実績	実績	計画	差	計画		
収益的収支	給水収益	8,768,832	7,862,264	8,737,964	-875,700	8,699,768	4か月間水道料金の基本料金を免除したため
	受託工事収益	5,010	13,927	23,325	-9,398	23,325	配水管移設等の工事件数が少なかったため
	分担金	306,648	258,995	237,160	21,835	234,328	
	長期前受金戻入	802,068	795,680	815,521	-19,841	764,217	
	その他	611,450	938,369	524,660	413,709	500,774	一般会計からの繰入があったため
	計	10,494,008	9,869,235	10,338,630	-469,395	10,222,412	
	職員給与費	1,364,530	1,420,140	1,437,698	-17,558	1,411,343	
	(うち退職給付引当金繰入額)	0	90,725	83,635	7,090	82,596	
	(うち上記以外)	1,364,530	1,329,415	1,354,063	-24,648	1,328,747	
	受水費	3,528,294	3,304,810	3,433,052	-128,242	3,432,613	兵庫県営水道の受水費が免除になったため
受託工事費	12,234	15,141	22,487	-7,346	22,487	配水管移設等の工事件数が少なかったため	
(うち職員給与費)	11,558	5,357	5,873	-516	5,873		
減価償却費等	2,539,789	2,544,902	2,601,668	-56,766	2,582,615		
支払利息	317,824	292,768	326,766	-33,998	323,753	企業債残高が減少したため	
物件費等	1,597,870	1,664,379	1,908,586	-244,207	1,883,616	委託料や修繕費が少なかったため	
計	9,360,541	9,242,140	9,730,257	-488,117	9,656,427		
収支差引(収益的収支)	1,133,467	627,095	608,373	18,722	565,985		
前年度利益剰余金	3,834,872	4,326,239	3,997,635	328,604	3,767,008		
利益剰余金(補てん財源使用可能額)	4,968,339	4,953,334	4,606,008	347,326	4,332,993		
利益剰余金使用額(補てん額)	642,100	856,700	839,000	17,700	542,236		
当年度末利益剰余金	4,326,239	4,096,634	3,767,008	329,626	3,790,757		

収益的収入においては、新型コロナウイルス感染症対策として、4か月間の基本料金の免除を行ったことにより、給水収益が大きく減少しました。その財源補てんとして、一般会計から繰入がありました。その結果、純利益は対計画比で約1,900万円の増となりました。

一方、収益的支出においては、水道料金の減免を行ったことにより、兵庫県営水道から3か月分の受水費が免除されました。その他の費用も計画を下回り、委託料や修繕費などの物件費等が計画を下回ったことなどから、対計画比で約4億8,800万円の減となりました。

(単位：千円、税抜)

	R1 (2019)	R2 (2020)			R3 (2021)	検証<計画値との差> (主な増減理由)	評価
	実績	実績	計画	差	計画		
資本的収支	企業債	1,113,600	1,460,700	1,689,200	-228,500	1,766,700	建設改良費が減少したため
	国庫補助金	3,274	0	0	0	0	
	工事負担金	72,479	11,149	27,500	-16,351	24,000	計画工事を後年度送りにしたため
	その他	46,540	49,766	56,175	-6,409	604,346	消防にかかる一般会計からの収入が減ったため
	計	1,235,893	1,521,615	1,772,875	-251,260	2,395,046	
	建設改良費	2,309,683	2,903,803	3,139,120	-235,317	3,690,484	計画工事を後年度送りにしたため
	(うち職員給与費)	361,144	349,516	361,253	-11,737	361,253	
	企業債償還金	1,154,593	1,182,544	1,182,545	-1	1,135,214	
	その他	0	100,852	103,319	-2,467	103,318	
	計	3,464,276	4,187,199	4,424,984	-237,785	4,929,016	
収支差引(資本的収支)	-2,228,383	-2,665,584	-2,652,109	-13,475	-2,533,970		
退職給付引当金調整額	-167,779	18,222	21,222	-3,000	-29,623		
当年度資金過不足	475,026	-271,045	-236,367	-34,678	-179,210		
資金残高	4,522,105	4,251,060	3,969,967	281,093	3,790,757		
当年度末利益剰余金	4,326,239	4,096,634	3,767,008	329,626	3,790,757		
損益勘定留保資金	195,866	154,426	202,959	-48,533	0		

資本的支出においては、施設等の整備時期の見直しや工事の翌年度への繰越などにより建設改良費が計画を下回ったことから、対計画比で約2億3,800万円の減となりました。

一方、資本的収入においては、事業費の減を受けて、その財源となる企業債なども計画を下回り、対計画比で約2億5,100万円の減となりました。

その結果、収支不足額は対計画比で約1,300万円の増となりました。

令和2年度末の資金残高は対計画比で約2億8,100万円増の約4億2,800万円となりました。

企業債残高	190,130,28	19,291,185	20,550,685	-1,259,500	21,027,471
-------	------------	------------	------------	-------------------	------------

<施策の目標ごとの評価>

●施策目標「安全」

水源から蛇口まで、安全な水道水を供給するための適切な水質管理ができています。また、水道 GLP に基づき高い精度で水質検査を行うとともに、近隣の水道事業者等と共同で水質検査を実施するなど検査体制の効率化を図っています。

●施策目標「強靱」

管路の更新に合わせて耐震化を進めています。浄水場や配水池等については、耐震診断により配水池の耐震性能を確認したほか、送配水システムの再構築や耐震化に向けて整備計画の策定や工事の設計業務を進めています。

また、事業継続計画に基づく各種訓練の実施や、水道事業者及び民間事業者等との災害時における応援協定の締結など、災害等に迅速に対応できる組織体制を構築しています。

●施策目標「持続」

新型コロナウイルス感染症対策として水道料金の減免を実施したことから、財政状況は一時的に悪化しており、さらなる経費の削減や収入の確保に努め、経営基盤の強化を図る必要があります。

人材育成については、様々な研修の機会を提供するなど能力の向上に努めていますが、職員数の削減を進める中での確実な技術の継承が課題となっています。

環境対策としては、エネルギーの効率的な利用や建設副産物のリサイクルが進んでいると言えます。

<まとめ>

水質監視や水質検査、災害時等における対応力の強化、環境対策などの取組みについては、以下の評価結果のとおり 33 の取組み中、評価 A と B が 32 となっており、着実に成果が挙がっています。その他、協議・検討を行っている段階の取組みもありますが、概ね計画どおりに進んでいます。職員の技術力の確保及び強化の取組みにおいては事業の遅れが確認されましたが、改善に向けた検討を進めています。

評価結果の集約

施策 目標	評価の分類			主な 取組み数
	A	B	C	
安全	2	6	0	8
強靱	2	8	0	10
持続	1	13	1	15
計	5	27	1	33

A「順調」…問題なく進展している

B「概ね順調」…具体的な成果は出ていないが協議や調査などを進めている、または計画期間終了までに目標を達成できる見込みである

C「遅れている」…進展が見られない、または計画期間終了までに目標を達成できる見込みがない